



学業 の 成 果

富士ゼロックス株式会社
研究本部先端デバイス研究所勤務
堀場幸治
大学院理工学部研究科修了
(平成16年3月)



堀場さんは、「富士ゼロックス株式会社研究本部先端デバイス研究所」に勤務する25歳。昨年の3月に大学院理工学研究科（大場研究室）を卒業し、入社二年目の現在、仕事に慣れてきた分ハードルも上がってますます忙しい日々を送っているという。愛知県出身の堀場さんが山形大学に進学した理由はいくつかあるが、いちばんのポイントは一緒に受験した仲の良い友人が全員合格したこと。当時、山形大学工学部の学生の2割程度が愛知県出身者だったらしいというからちょっと意外だ。

山形市内で1年、あとの5年間で米沢市内で過ごした堀場さんの思い出として鮮烈に残っているのが、米沢の豪雪と大家さんから受けた親切と置賜弁講座

あの頃があるから今がある。
専攻分野で頑張っています。

(?) だとか。4年生に上がる前の研究室選びは、将来の目標がまだ決まっていなかったのでかなり迷ったという。好きでも嫌いでもなく、ただ一番得意という無難な理由で選んだ有機化学の大場研究室。それが結果的には最善の選択だった。とても明るい雰囲気の研究室で楽しい学生生活を過ごすことができたし、有機合成で必要な経験を積むことができ今の仕事に大いに役立っているからだ。特に、修士論文における研究では、苦難に耐えて模索することでブレイクスルーでき、局面を打破する喜びを学んだ。日々、難易度の高い研究に挑戦中の今、有機合成化学が楽しく感じられるという堀場さんの今後の活躍に期待したい。



成